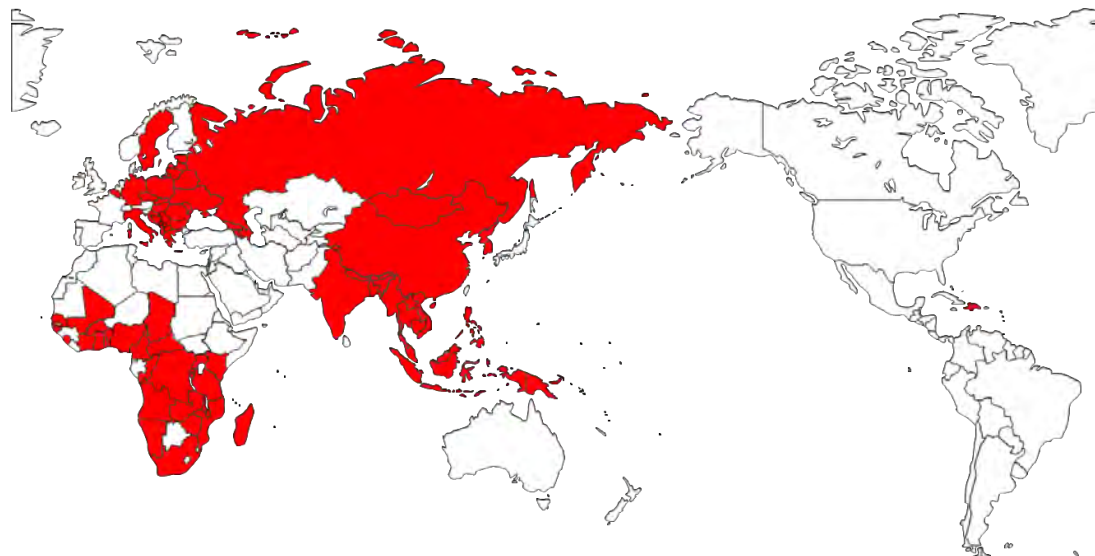


アフリカ豚熱・口蹄疫について

アフリカ豚熱の発生状況

- 2018年8月に中国においてアジア初の発生。その後、韓国やベトナム等アジア全域に感染が拡大。
特に、韓国では2019年9月の発生確認以来、飼養豚、野生イノシシで、徐々に感染が拡大。2023年12月には、我が国へのフェリー定期便の発着港を有する釜山広域市で感染を確認。（直近では飼養豚では2024年7月に発生し、野生イノシシでは2024年7月に感染を確認）。
- 東アジアでアフリカ豚熱が発生していないのは、日本、台湾のみ。
- 既に、我が国に違法に持ち込まれた畜産物から、**アフリカ豚熱ウイルスが4件で分離**されているほか、**ウイルス遺伝子についても中国やベトナム等を中心に219例検出**されており（2024年6月末時点）、**旅行者により持ち込ませないための出国前の対応**や国際郵便物を含めた水際対策の強化により、事前に侵入を防止することが極めて重要。
- 万が一、野生イノシシに侵入を許した場合、**豚熱と異なり有効性が認められたワクチンがない**ことから、農場の飼養豚については、飼養衛生管理の向上が必要であるとともに、**野生イノシシについて、死体が感染源となるため、死体を衛生的に処理する必要**。



■ = 2005年以降WOAH等に発生・感染確認通報のあった国/地域

〔参考〕違反の実例



中国からの旅客に持ち込まれた違法豚ソーセージ
(感染性のあるアフリカ豚熱ウイルスを検出した事例あり)

〔参考〕豚熱、アフリカ豚熱の病原性に関する比較

	伝播性	致死率
豚熱	++	+
アフリカ豚熱	+	++

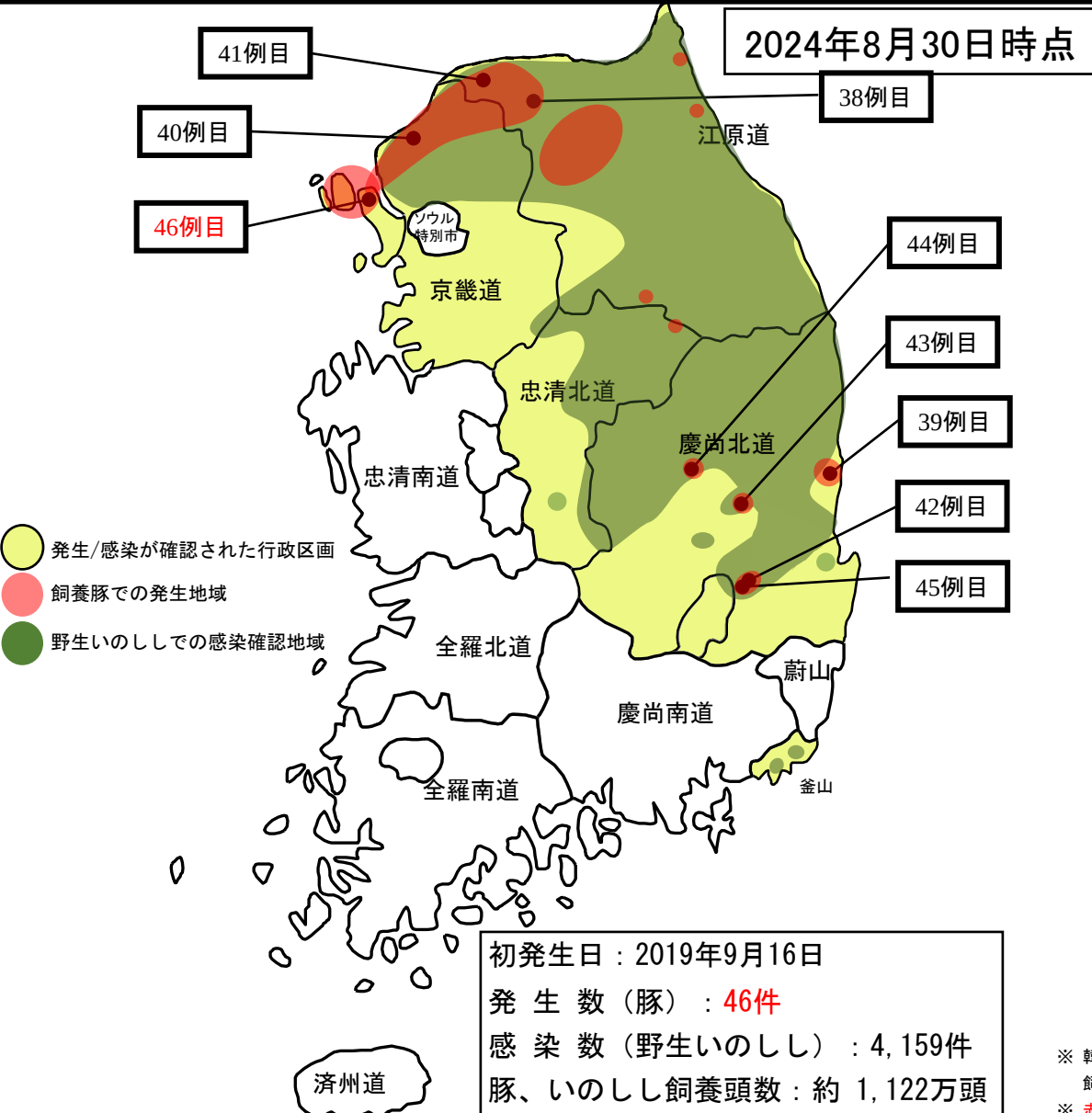
伝播性：感染しやすさ（ウイルスに接触した豚のうち感染する個体の割合）
致死率：感染し、発症した豚のうち、死亡した個体の割合

出典：FLI（ドイツ連邦動物衛生研究所）作成資料

韓国におけるアフリカ豚熱の発生状況

韓国で北部から南部へと徐々に発生が拡大していた中で、**昨年12月に釜山広域市で急に野生イノシシでの感染が確認**され、1月には、**日本に向かうフェリーターミナルに近い場所でも野生イノシシでの感染が確認**。

【飼養豚での事例】		
事例	発生日	発生地域
1	2019/9/16	京畿道坡州市
2	2019/9/17	京畿道漣川郡
3	2019/9/23	京畿道金浦市
4	2019/9/23	京畿道坡州市
5	2019/9/24	仁川広域市江華郡
6	2019/9/25	仁川広域市江華郡
7	2019/9/25	仁川広域市江華郡
8	2019/9/26	仁川広域市江華郡
9	2019/9/26	仁川広域市江華郡
10	2019/10/1	京畿道坡州市
11	2019/10/1	京畿道坡州市
12	2019/10/2	京畿道坡州市
13	2019/10/2	京畿道金浦市
14	2019/10/9	京畿道漣川郡
15	2020/10/8	江原道華川郡
16	2020/10/9	江原道華川郡
17	2021/5/4	江原道寧越郡
18	2021/8/7	江原道高城郡
19	2021/8/15	江原道麟蹄郡
20	2021/8/25	江原道洪川郡
21	2021/10/5	江原道麟蹄郡
22	2022/5/26	江原道洪川郡
23	2022/8/18	江原道楊口郡
24	2022/9/18	江原道春川市
25	2022/9/19	江原道春川市
26	2022/9/28	京畿道金浦市
27	2022/9/28	京畿道坡州市
28	2022/11/9	江原道鉄原郡
29	2023/1/5	京畿道抱川市
30	2023/1/11	江原道鉄原郡
31	2023/1/22	京畿道金浦市
32	2023/2/11	江原道襄陽郡
33	2023/3/19	京畿道抱川市
34	2023/3/29	京畿道抱川市
35	2023/3/31	京畿道抱川市
36	2023/4/13	京畿道抱川市
37	2023/7/18	江原道鉄原郡
38	2023/9/25	江原道華川郡
39	2024/1/15	慶尚北道盈徳郡
40	2024/1/18	京畿道坡州市
41	2024/5/21	江原道鉄原郡
42	2024/6/15	慶尚北道永川市
43	2024/7/2	慶尚北道安東市
44	2024/7/7	慶尚北道醴泉郡
45	2024/8/12	慶尚北道永川市
46	2024/8/30	京畿道金浦市



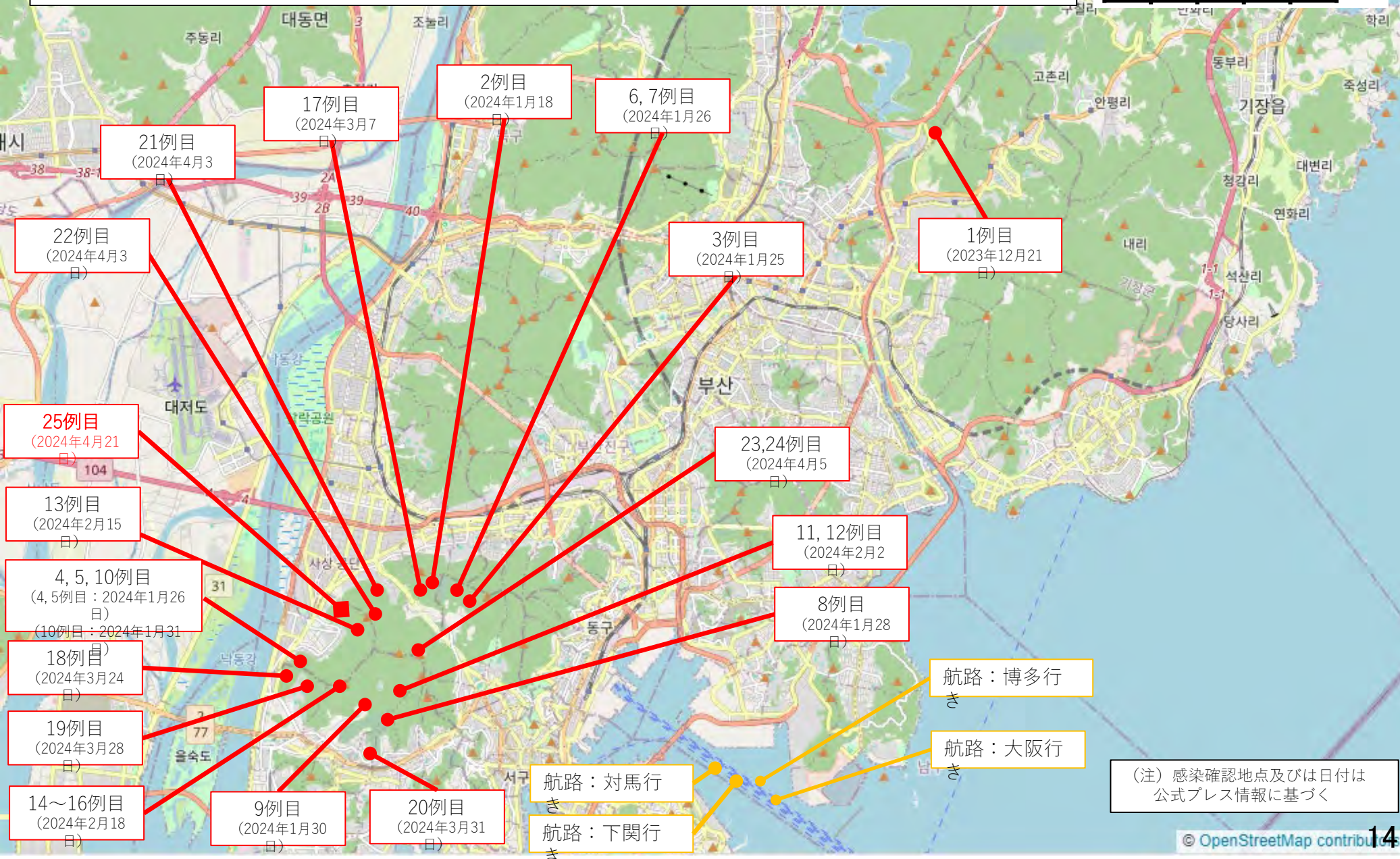
【野生イノシシでの事例】		
京畿道	坡州市	100
江原道	漣川郡	418
	抱川市	94
	加平郡	62
	鉄原郡	37
	華川郡	431
	春川市	222
	楊口郡	88
	麟蹄郡	158
	高城郡	12
	寧越郡	260
忠清北道	襄陽郡	36
	江陵市	111
	洪川郡	63
	平昌郡	46
	東草市	1
	旌善郡	181
	横城郡	63
	三陟市	106
	原州市	83
	太白市	19
慶尚北道	東海市	8
	丹陽郡	202
	堤川市	97
	報恩郡	73
	槐山郡	12
	陰城郡	1
	忠州市	115
	尚州市	128
	蔚珍郡	68
	聞慶市	78
釜山広域市	栄州市	22
	醴泉郡	19
	奉化郡	90
	盈徳郡	123
	安東郡	91
	英陽郡	108
	青松郡	114
	浦項市	86
	永川市	55
	義城郡	38
大邱広域市	釜山広域市	25
合計	軍威郡	15
		4,159

※ 韓国当局公表資料を元に作成
飼養頭数：FAO統計（2021）による
※ 赤字は2024年8月19日時点から更新

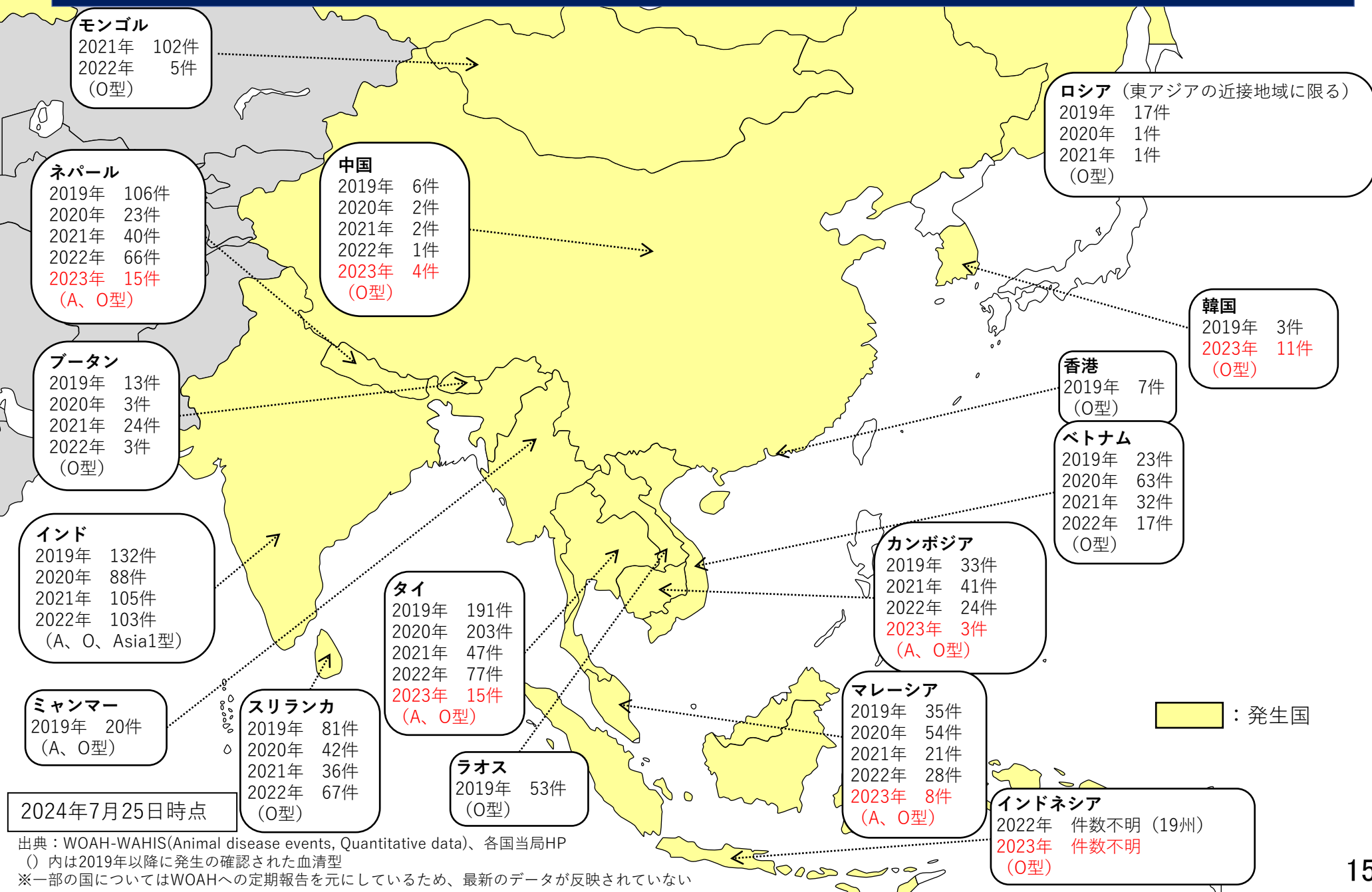
韓国におけるアフリカ豚熱の発生状況 – 釜山広域市における感染拡大状況 –

韓国釜山・野生イノシシASF感染確認25例目（2024年4月22日時点）

0 1 2 3 4 5 km

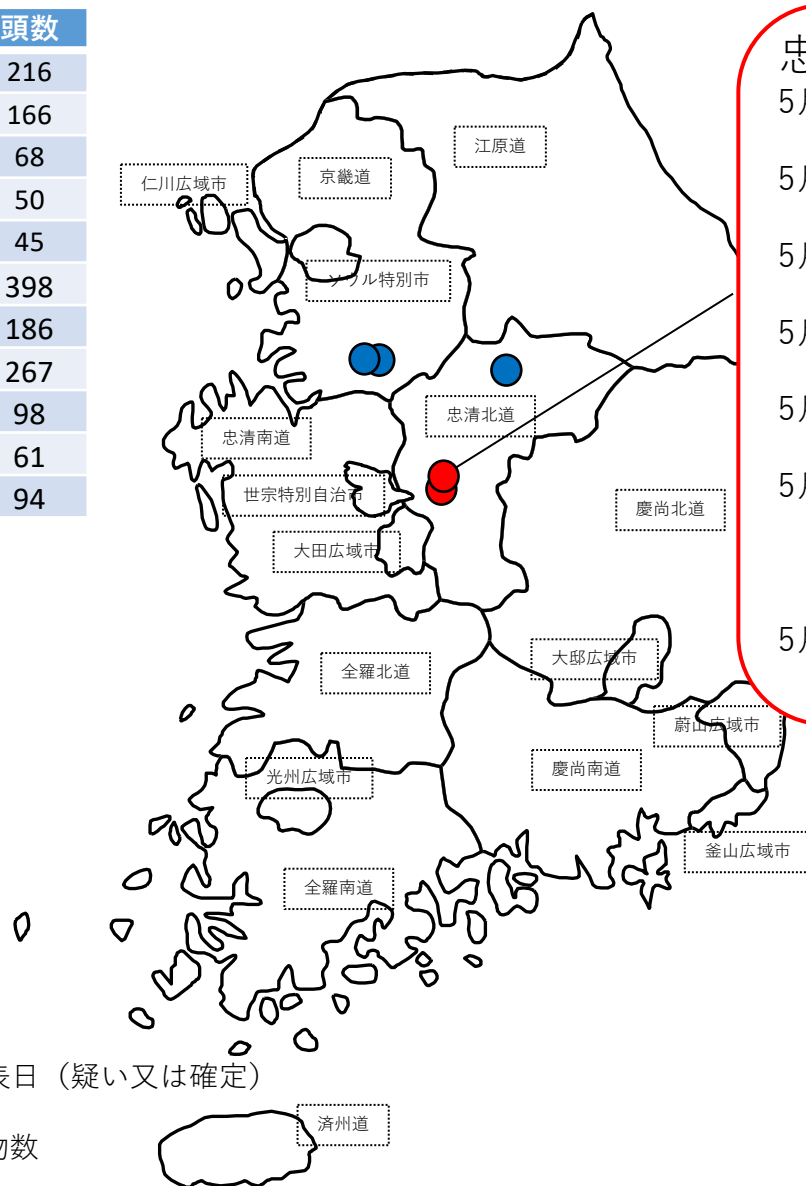


アジアにおける口蹄疫の発生報告状況（2019年以降）



韓国における口蹄疫の状況（2023年5月以降）

	発生日	場所		動物種	頭数
1	'23/5/10	忠北	清州市	牛	216
2	'23/5/10	忠北	清州市	牛	166
3	'23/5/10	忠北	清州市	牛	68
4	'23/5/11	忠北	清州市	牛	50
5	'23/5/12	忠北	清州市	牛	45
6	'23/5/14	忠北	曾坪郡	牛	398
7	'23/5/15	忠北	清州市	牛	186
8	'23/5/16	忠北	清州市	牛	267
9	'23/5/16	忠北	曾坪郡	牛	98
10	'23/5/16	忠北	清州市	山羊	61
11	'23/5/18	忠北	清州市	牛	94



忠清北道（11件）

5月10日（確定日は11日）

清州市 牛：3件（O型）

5月11日

清州市 牛：1件（O型）

5月12日

清州市 牛：1件（O型）

5月14日

曾坪郡 牛：1件（O型）

5月15日

清州市 牛：1件（O型）

5月16日

清州市 牛：1件（O型）

山羊：1件（O型）

曾坪郡

牛：1件（O型）

5月18日

清州市 牛：1件（O型）

注：日付はWOAH報告の発生日

ただし、WOAH未報告の場合は韓国当局公表日（疑い又は確定）

とし、件数の後に※マークを記載

頭数は当該農場で飼養されている感受性動物数

- : 2023年発生地点
- : 2019年発生地点（参考）

2023年5月22日（13:30）時点
農林水産省動物衛生課

出典：韓国農林畜産食品部
WOAH

アフリカ豚熱・口蹄疫等の発生に備えた水際対策等の強化

日本に持ち込
ませない・
侵入させない

- ・ 令和2年度末までに検疫探知犬を140頭へ増頭(5年間で約7.8倍)。家畜防疫官についても、令和5年度末に541名体制に増員。
- ・ 出国前の旅行者に対するSNSを利用した情報発信・旅券発券時のリーフレット配布等を継続的に実施するとともに、旅行代理店、技能実習生等への注意喚起と情報発信・注意喚起を実施。
- ・ 訪日韓国人旅行者に影響力を持つ人気韓国人ブロガーから、畜産物持ち込み禁止及び靴や自転車の泥を落とすこと等についての情報発信。
- ・ 韓国からの全ての船舶及び航空便に対して、家畜防疫官による検査を実施中。釜山からの船舶に対しては全ての旅客に口頭質問を実施し、トレッキングシューズ、ゴルフシューズ等の要消毒物品に対して対応を確実に実施し、検疫探知犬についても活動回数を増加。航空便に対しても検疫探知犬の活動回数を増加。
- ・ 釜山定期旅客船の就航する5港(下関港、博多港、比田勝港、厳原港、大阪港)において、車両、自転車等の消毒を実施。
- ・ 平成31年4月から携帯品検査の対応を厳格化し、**7件11名の逮捕事例**。また、**国際郵便物**については**2件4名の逮捕事例**。(令和6年2月末時点)

<大臣による注意喚起>



<空港等での注意喚起>



農場に侵入
させない

- ・ 生産者をはじめとする関係者に対して侵入リスクが高まっている危機感を共有し、農場における飼養衛生管理の徹底等について改めて指導するとともに、アフリカ豚熱については、万が一の侵入時に的確な初動対応ができるよう、都道府県における防疫体制を関係部局と連携し構築するなどの準備をすすめるよう改めて通知。

<生産者向け注意喚起資料>



野生イノシシ
に
感染させない

- ・ 釜山広域市と主要な定期フェリー航路を有している県を中心に、韓国人旅行者の立ち寄り場所などリスクの高い場所を特定して、効果的に野生イノシシ等への侵入防止対策を新たに実施。
- ・ アフリカ豚熱が野生イノシシへ侵入した際に備え、衛生的な死体処理等の初動対応の基本方針案を公表するとともに、特殊な防疫資材(簡易電気柵、納体袋)等を備蓄。また、各都道府県でアフリカ豚熱に関する防疫演習が実施できるよう支援。

<侵入時に備えた防疫演習>





来日するあなたへのお願い

肉製品や果物・野菜等は日本に持ち込めません！



国際郵便でも送れません。母国の家族や知人に国際郵便で肉製品や果物・野菜等を送らないように伝えてください。

(国際郵便で検査を受けていない肉製品、果物・野菜等を受け取った場合は動物検疫所又は植物防疫所に御連絡ください。)

- 海外で使用した汚れた作業着、作業靴、長靴は持って来ないでください。
- 日本に来る前1週間以内に、海外の家畜に触れないでください。また、日本に来てから1週間は、家畜に触れないでください。



- 海外から日本への肉製品や果物・野菜等の持込みは法律で厳しく制限されています。
- 日本に肉製品や果物・野菜等を違法に持ち込むと重い罰則（3年以下の懲役又は300万円以下（法人の場合は5,000万円以下）の罰金等）の対象になります。
- 悪質な持込みと判断したら警察に通報します。
- 違法な持込みにより、逮捕された人もいます。
- 輸入できない畜産物を持っている場合、入国が認められないことがあります。



農林水産省



動物検疫



植物防疫

その他

米国の乳牛における高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）について

2024年9月3日

農林水産省消費・安全局動物衛生課

乳牛における感染状況等

○ 14州196農場（2024年9月3日時点）

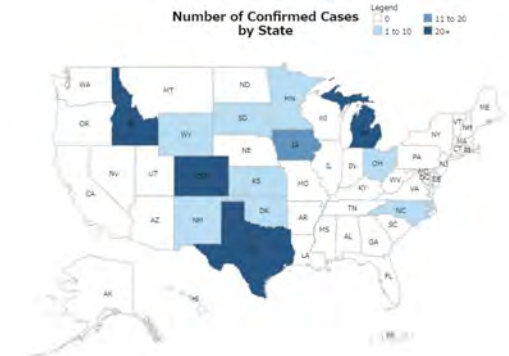
（テキサス州、カンザス州、ミシガン州、ニューメキシコ州、アイダホ州、オハイオ州、ノースカロライナ州、サウスダコタ州、コロラド州、ワイオミング州、アイオワ州、ミネソタ州、オクラホマ州、カリフォルニア州）

○ 牛の臨床所見は、食欲低下、泌乳量減少等。重症例では粘稠な乳の排出等。死亡率が高い鶏への感染と異なり、牛の症状は比較的軽く10日程度で回復。

○ ウイルスは野鳥や家きん等に感染するウイルスと同様のH5N1亜型。初期は野鳥から乳牛へ感染したとみられるが、乳牛は乳中にウイルスを多く排出するため、搾乳作業を介して牛から牛への感染が起こったと推定。

○ 州間伝播は牛の個体移動により起こり、酪農場間伝播は搾乳作業に加えて、作業員、牛の運搬車などによる可能性があると考えられる。家きん農場への伝播も疫学調査が進められている。

○ 2024年4月29日以降、州境を越えて移動する搾乳牛に対しては、HPAI検査を義務付け。



米国農務省（USDA）ウェブサイトより

牛乳・乳製品、牛肉の安全性、人への感染リスク

○ 市販されている牛乳・乳製品の原料はほぼ全て加熱殺菌されている。このため、米国食品医薬品局（FDA）は、引き続き消費者の健康リスクに懸念はないとの見解。市場に流通する牛乳・乳製品の調査において、これまでウイルスは検出されていない。

○ 肉用牛で本病は確認されていない。USDAは、と畜場における検査により牛肉の安全性は確保されているとの見解。市場に流通するひき肉での調査において、これまでウイルスは検出されていない。

○ 2024年4月1日以降、感染した牛と接触した4名のHPAI感染を確認。1例目、2例目及び4例目は目の症状のみ、3例目は咳などの上気道症状及び目の不快感を示したが、いずれも軽症で回復済み又は回復中と報告。ウイルス解析の結果、人への感染性を上昇させる遺伝子変異はこれまでに確認されておらず、米国疾病予防管理センター（CDC）は、一般市民に対する感染リスクは低いままであるとの見解。

農林水産省の対応状況

○ 都道府県に対し、牛の飼養管理者、獣医師等に対する本事例の周知、野鳥等から牛への感染を防止する基本的な飼養衛生管理の徹底及び食欲低下、乳量減少等がみられた場合の獣医師又は家畜保健衛生所への相談についての注意喚起とともに、感染が疑われる事例があった場合の連絡を要請（2024年4月3日）。

1 獣医師や家畜保健衛生所への相談

- ・ 飼養する牛に乳量の減少、食欲低下等がみられた場合には、群から隔離して管理し、獣医師又は家畜保健衛生所に相談するように指導すること。
- ・ 獣医師や家畜保健衛生所においては、疫学的状況や症状の経過等を踏まえ、乳量の減少、食欲低下等の原因が特定されない場合には、HPAIの可能性も考慮した検査を検討すること。

2 飼養衛生管理基準に基づく基本的な衛生管理

- ・ HPAI 等の野鳥からの感染防止を図るため、畜舎の給餌設備及び給水設備並びに飼料の保管場所に野鳥の排せつ物等が混入しないよう必要な措置を講ずること。